

## {プログラム}

テーマ:「身体ポリティクスとポエティクス」

この研究集会は、立命館アジア太平洋大学開学 20 周年事業の一環として、  
同学ムスリム研究センター(<http://www.apu.ac.jp/rcaps/rcrcmc/news.html/>)  
との共同開催とする。

**1 日目**

**7月20日(土)**

★会場: APU プラザ、セミナールーム A および B

14:00-14:15 開会の辞／趣旨説明

14:15-15:15 報告 1

井口由布(立命館アジア太平洋大学)

「身体のポリティクスと「女性器切除」:マレーシアの事例から考える」

15:15-16:15 報告 2

大形里美(九州国際大学)

「インドネシアにおける女子割礼:リベラル派と保守派の間で」

16:15-16:30 休憩

16:30-17:30 報告 3

宮地歌織(九州工業大学)

「変容する女子割礼／女性性器切除:ケニア西部の農村部における事例より」

17:30-18:30 報告 4

秋保さやか(明治大学研究・知財戦略機構島嶼文化研究所客員研究員、  
国立民族学博物館外来研究員)

「現代カンボジア農村における月経をめぐる規範と実践」

女性のライフコースの変化に着目して」

**2 日目**

**7月21日(日)**

★会場: 立命館アジア太平洋大学、B 棟 2 階、RCAPS-A 会議室

9:45-10:45 報告 5

伊賀司(京都大学東南アジア地域研究研究所連携講師)

「マレーシアにおけるセクシュアリティ・ポリティクスの誕生と変容?」

矯正と予防に動く国家、スケープゴートにされ続ける性的マイノリティ」

10:45-11:45 報告 6

日向伸介(大阪大学)

「冷戦期タイの都市空間とセクシュアリティ:パッターヤを事例として」

11:45-12:00 閉会の辞

[www.jsseas.org](http://www.jsseas.org)

お問合せ先: [rcma@apu.ac.jp](mailto:rcma@apu.ac.jp)

Japan Society for Southeast Asian Studies Special Symposium

東南アジア学会 研究集会

(九州地区特別例会)